

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

鉄が海を育てる

まずから、植物プランクトンが増えれば大気中の炭酸ガスも減ることが期待されます。そこで、鉄を撒いて植物プランクトンを増やして一石二鳥をねらいま

豊かにしようと漁師さんが各地で植林をしていますね。最近の研究で、森林の腐葉土に含まれる鉄が、川に流れ込み海に流れ込むのが大切、ということが分か

丹後では江戸時代から魚付き林と呼ばれる海辺の森を大切に守ってきました。現在でも

鉄を海に撒いて地球温暖化の原因になる炭酸ガスを減らそうとする試みが、北太平洋で続けられています。千島列島南側の北太平洋は、窒素やリンなどの栄養素は豊富にあるのですが、鉄が不足しているために植物プランクトンが増えることができません。鉄は植物が光合成をするための特別な色素である葉緑素を作るために不可欠な元素なのです。

実は海に鉄を撒いて海を豊かにしようという取り組みは、日本では古くから行われています。森を育てて海を

丹後では江戸時代から魚付き林と呼ばれる海辺の森を大切に守ってきました。現在でも

鉄を海に撒いて地球温暖化の原因になる炭酸ガスを減らそうとする試みが、北太平洋で続けられています。千島列島南側の北太平洋は、窒素やリンなどの栄養素は豊富にあるのですが、鉄が不足しているために植物プランクトンが増えることができません。鉄は植物が光合成をするための特別な色素である葉緑素を作るために不可欠な元素なのです。



冠島は島全体が魚付き保安林(写真はファイル21提供)

昔の人は森を育てると海も豊かになることを経験で知っていたのかもしれない。

炭酸ガスと水を原料に光合成によって増殖して進めているのは、

